

ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2007 vol.3

ERFC 清里ミーティング報告号

清里ミーティングへのご参加、ありがとうございました！

ごあいさつ

今年のトピックはなんと言ってもあの天気！直前の悪天候の反動か、当日は奇跡の好天が我々を迎えてくれました。スタッフも常連さんも「富士山ってあんなに近かったっけ?!」「八ヶ岳の岩肌までくっきりと見えるよ!」って異口同音に言うほどに澄んだ空気と暖かい日差しの中、充実した一日となりました。

今回のゲストはいつもお世話になっている広島のクラブ『Club J 5 8 G Hiroshima』のメンバー



にして MAZDA のテストドライバー、虫谷さんにお越しいただきました。その熱くて濃い講演内容は一部の地域を除いてこの次の記事でお知らせします！（ウソです。ちゃんとどなたにもまんべんなくお送りします）

いい天気だったおかげもあってか、恒例の『清里弁当』もいつもにも増して美味しかったとの評判でしたし、その後の午後の部はみなさん思い思いにショップを覗いたり、スワップミーティングで掘り出し物を求めたり、他の参加者の車を見ながらお互いに参考にしてみたり。さらに常連さんは旧交を温めたり、新たな繋がりを作ったり。でも今年は何が多かったって、こんな機会はそうそう無いとばかりに富士山を背景に自分の車を写真に収めようとする姿！！今年の参加者の年賀状には軒並み同じようなアングルの写真が使われているのではないかと・・・。（^_^;）

屋外ばかりでなく、ホールで展示されていた『なんでも展覧会』の作品は見てもらえましたか？今年からコンテスト形式ではなくなりましたが、例年同様に愛のこもった作品や力のこもった作品が揃っていました。投票がなくなったからと言って、この作品群をちゃんと見ておかないと損しますよ。（笑）

そして最後は恒例のジャンケン大会。降臨したジャンケン大王との対戦は毎年このジャンケンだけのために参加している人がいるというウワサもまんざらウソとも言えないかも？と感じさせるほどの熱気にあふれていましたね。

来年はまだどういった形で開催することになるかは判りませんが、「やるっ!」って宣言しちゃったことですし、きっと開催します。ではまた、清里でお会いしましょう。

（清里ミーティング実行委員長：豆蔵）

午前の部：ゲスト講演報告 ～走りのキモはブッシュ?!～

毎年ゲストをお招きするというコトに関しては頭を抱えながらの準備に入ります。先方さんとお仕事なので、前々から予定などを組みにくく、ほんとに直前にならないと決まりません。

今年もなんとかご都合がつき、お越しいただいたゲストはマツダの操安性能開発部の虫谷泰典さん。ものすごく簡単に説明するとテストドライバーのお方であり、現行NCロードスターの開発に携わっております。虫谷さんについては2年前に発売された交通タイムス刊行のNCロードスター雑誌「LIMIT」のインタビュー記事にも登場していたこともあるので、覚えてらっしゃる方も多いかと思います。



実は虫谷さん、清里にお越しいただいたのはこれで3回目。ご自身も初期のNAロードスターをこよなく愛する一人であるから「仕事」としてではなく、今年もいち個人としてイベントを楽しむためにお越しいただき、今回ついに壇上でお話いただける運びとなりました。

お話は例年以上に非常に内容の濃いものとなり、おもに走りについてが中心となりました。マツダ入社後の開発に携わったクルマはなんと「タイタン」というトラック。競合激しい商用トラックの世界でエルフ、キャンターなどに

比べればシェアこそ多くはないものの「走り」の評価は競合車以上!? というのは Zoom-Zoom を提唱しているなんともマツダらしいトコロ。

「商用車という性格柄『雇われ』で仕方なく乗っているケースが多いけれど、そういう人に高速のSAとかで直接話を聞いて『楽しい』とか『イーンじゃない?』などと言われると嬉しいです」とは虫谷さん。

ほどなくして約3年間のドイツにあるMME(マツダ・モーター・ヨーロッパ)に赴任され、時すでにNCロードスターの開発真っ最中の頃。ドイツのニュルブルクリンクをはじめアウトバーンなどで先攻試作車でのテストをもとに、日本のマツダへと結果を伝えるが、言葉や文章で伝えるのはとても難しいのだそうです。そこで250mlのペットボトルにメモリを刻み、中の水の揺れで挙動が目で見えてわかる「揺れ測定器」を作り、これをインパネなどに貼って数値だけでは判断できない「体感」の基準を作り意思の疎通を図っていたのだそうだ。



NCロードスターの開発において虫谷さんがもっとも力を注いだのが「ロードスターらしい軽快な走り」。今でも1989年の先行予約会で並んでまで買ったというNAロードスターを乗り続け、体に染み付いている「走り」や「動き」がその出来上がった試作車では違和感を覚えたのだとか。そこがなんなのかを追求し続けた結果それは「フロントサスペンションのロア後ろ側のブッシュ」だったのだとか。

いくつか試作を作ってもらい、あらゆる硬度のブッシュを試してみてもやはりダメ。そこでなにも削っていないムクのブッシュを用意させ、それを自ら工作室にこもってドリルで穴を開けたものを数セット作り、試行錯誤の上現在のセッティングの基本が出来たのだそうだ。

いささか話がサスペンション・ブッシュ中心となり、まるでロードスターはブッシュだけで走ってるんじゃないのか？ と言われそうですが、それだけ「ロードスターがロードスターらしく」軽快に走るのに大事な「肝」はサスペンション・ブッシュというコトは確かなようです。余談ですが、チューニングパーツとして強化ブッシュやトーコンキャンセラーなどが出回っていますが、一番素直な動きが楽しめるのは「ノーマル」とも言っていたことを付け加えておきます。

今年は走りについて、書ききれないくらい、しかも非常にマニアックに富んだお話をしていただいたため、時おり会場では瞑想にふける(!?)方も時々みかけました。少々難しい話ばかりだったことは来年への反省材料だなあ…と思います。来年はどのゲストにお越しいただけるかはもちろん分かりませんが、もっと分かりやすく多くの方が楽しめるようなお話が出来たらいいと思うので、これに懲りずに!?! 来年もよろしくをお願いします。

(たかね)

さて、ここからはスタッフによるミーティング報告とごあいさつです。

清里ミーティングを裏で支えるスタッフたちの視点から見たできごとのあれこれを書き綴られていたりいなかったり。(え?!) と言うわけで、まずは受付風景からどうぞ。

受付編

ミーティングも18回目ともなると、たいていのことには驚かなくなっているのですが、台風来襲には参りました。降り止まぬ雨風は日暮れが近くなるにつれてどんどん激しくなり、屋外での準備作業は断念。どうなることかと気を揉みましたが、台風は夜には遠ざかってくれました。その夜の月は、それはそれはキレイでしたよ。

ミーティング当日は、2日分まとめたような素晴らしい快晴！いつもなら冷え込む朝もとても快適で、我々受付チームもついつい笑顔倍増(例年比?)。とはいえ素人の悲しさ、天気で手際が良くなるはずもなく、やっぱりバタバタしてしまいます。お待たせしないことを第一にしておりますが、不快に思われた方もいらしたかも・・・申し訳ありませんでした。

次回はどういうお天気になるかわかりませんが、高原の風を愛車と共に楽しむついでに、受付チームの進歩(?)も見ていただけるようがんばりたいと思います。また来年、清里でお会いできることを願っております。

追伸：「なん展」虫谷賞の松浦君へ・・・とりあえず特攻服は着ないと思います。

(受付チーム：つのやま@にし)



駐車場&スワップミート編

駐車場&スワップミート係の前田です。当日の天気は過去最高と言っても過言ではないくらいいい天気でした。私なんか意味も無く八ヶ岳や富士山の写真を撮りまくっていました。

その天気のせいかどうかはわかりませんが、ロードスターに興味を示された一般観光客の方々も例年になく多かった気がします。

室内やボンネットが開けられたエンジンルームやスワップミートの出品物を食い入るように見ていたり、自分の気に入ったロードスターと一緒に写真を撮ったり。

その分見回りは大変でしたが（苦笑）、今回ほど駐車場係でよかったと思ったことはありませんでした。参加されたみなさん、ありがとうございました。また会いましょう。

（まえだ）



スワップミート編

一日中富士山が見えるという最高の天気に恵まれた今年の清里いかがでした？

スワップミートも楽しんで頂けましたか？

チョコQ・トミカからNA・NBカタログ・広報資料、なぜか営業資料（社外秘?!）までさまざまなものが並びました。

なかでも目玉は・・・

イギリスのクラブMX-5腕時計、パーティーレース発足時に最初の参加者だけに配られたボストンバッグ・CAP・ガバメントバック。そして最大の目玉はClub J58G Hiroshima のN氏出品のエアロボード”¥2,000ー!”（安っ!）

さすがに速攻で売れてしまい、買いそびれた数名が悔しがることしきりでした。

さあ、来年こそみなさんも参加しませんか？

委託販売すれば参加者のクルマを見て廻る時間もありますし自分で販売すれば、購入者とのやりとりも楽しめます！

今から準備すれば高速代の足しになるかもしれませんよ!（笑）

（スワップ&駐車場担当 こさか）



名札看板編

看板&名札製作担当のヒラグチです。

今回は昨年までお願いしていた印刷屋さんが廃業してしまった為、昔に戻って簡易印刷機を復活させて手作業での名札造りになりました。作成中、できた名札を部屋中に拵げていると会場に来てくださる皆様の顔が目浮かぶような気がして作業のはげみになり、そんな楽屋裏ならではの楽しさを堪能させていただきました。



駐車場風景「日向ぼっこ中」

今年の図案は B6 型ヘッドカバーです。これは永年使ってみたいと思い続けていたモチーフのひとつで、近年まれに見る「絵になるエンジン」だと思います。ちょっとポップアート風にアレンジしてみましたが、これ以外にもいろいろ表現方法が展開できそうなので又来年以降に形を変えて登場させられるかもです。それとフルカバー化された NC のエンジンもこういうネタとして使えないかアイデアを模索してみたいですね。

(ヒラグチ)

お弁当編

お弁当係のさっちゃんです。

今年の清里は山並みがうっとりするくらい美しい台風一過の上天気に恵まれましたね。当日は暖かったことも手伝ってメインホールでお弁当を開かれる方もまばらだった様と思います。食後は誰もいない時間もあっという間でした！



富士山を正面に望んでの清里弁当のお味は？

素晴らしい景色を見ながらのお弁当はいかがだったでしょうか？

「美味しかったよ」の言葉と共に聞かれたのは「ゴミの分別がわかりにくいよ」との言葉。その言葉を肝に銘じ、来年は「美味しく楽しいお弁当」と共に「わかりやすいゴミ箱」を用意して清里でお待ちしています！

(さっちゃん)

なんでも展覧会編

台風並みの低気圧だった前日は、「明日はどうなる？」と心配された清里ミーティングでしたが、当日は一店してこれまでにない、最高の秋晴れの下での開催となりました。や〜これも参加していただいた皆様の日頃の行いの賜物でしょうか。

さて清里ミーティング名物「お弁当」ではなく、『なんコン』ことなんでもコンテスト(汗)の方ですが、今年からは『なんでも展覧会』略して『なん展』と名前を変えての再スタートとなりました。

どうも順位のつくコンテスト形式よりも展示会としたほうが、より参加しやすい企画になるんじゃないか? という趣旨です。結果的に今年は8点の力作がメインホールを飾りました。どれも出品者のロードスターへの愛情があふれた逸品ばかりです。

そんな作品を持ち寄ってくれるのですから、ゲストやウチの会長が「おおお、これはすごい!」と唸らせる出来の物は、やはりご苦労様でしたという意味も兼ねて、報いたいのは当然の成り行きというわけで今回のゲストであるマツダの虫谷さん。さらにマツダE&Tの福田さん、ひでまる会長に一つずつ名作を選んでもらいました。

各選ばれた作品は

虫谷さん賞:「清里ミーティングの絵手紙」

東京都: 松浦 友哉くん

福田さん賞:「ボトルキャップエンブレム」

千葉県: 駒場 利明さん

まる会長賞:「かっこいいロードスター」

愛知県: 副島 響くん

となりました。どの作品も、ロードスターや清里ミーティングへの愛情が十分に注がれた素晴らしい物に仕上がっています。今回は特に若い二人が入賞して、将来に向けても頼もしい所を見せてくれました。駒場さんのボトルキャップエンブレムも、さりげない飾りとして光っています。

なん展に衣替えしてどうなるかと思いましたが、今回は盛況のうちに終わることが出来ました。来年もまた、皆様のロードスターに対する愛情を形に見せていただけることと思います。

是非、ふるって参加してくださいね〜



「清里ミーティングの絵手紙」
各ページに仕掛けが施されたまさに力作!



「ボトルキャップエンブレム」



「かっこいいロードスター」

(ふじい)

印刷係編

印刷係&当日は受付担当のたかはし(ち)です。

清里に参加の皆さん、お疲れ様でした&ありがとうございました。今年は、誰もが書いておりますが、本当に天気に恵まれて過ごしやすかったです。皆様も楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

さて、私は、通常は今お手元に持っている会報や、清里では当日パンフなど、会として発行する印刷物の印刷をしております。そして、今年は、当日パンフの原稿も担当しました。といっても、連続して参加してくださっている方は分かっていると思いますが、今年のパンフは、まんま去年の当日パンフの焼きなおしです。担当者が変わると体裁など変わってくるのですが、そんな力量のない私はそのまま使いました。手抜きですみません。

ただ、今年は、用紙の色がちょっと違うのです。毎年同じ紙で同じ色を4色使用していました。しかし、この紙、実はカラーがもっと豊富にあることを今年知り、中間色を中心に8色取り揃えました。と書きつつ、ふと気がつけば、参加者の方は一枚ずつしか持っていないので、結局は私の自己満足ですね。ええ、いろんな色なので、少しは印刷が楽しくなりました。

(ち)



駐車場風景「いつもお世話になってます」

よくわかんない編

いやさ、あの日すごい雨だったじゃん。

だから一、とりあえずキャビンに荷物下ろしてから、車の中、整理してたわけよ。

そしたら、助手席にひとまず置いといた荷物が崩れちゃったわけ。

でもってシフトノブ押し込んだじゃったからさ。

始め何の音かわかんなかったのよ。

「コオオオオッ」ってなんか遠くで聞こえてるみたいでさ、「ん？」

と思ってたら、「ゴガガガッ」みたいになっちゃってさ、あわてて運転席覗いて、荷物どけたんだけどさ。

もう、3速ギア鳴りしちゃってさ。

ミッション降ろしてみたら、シンクロなめてんのよ。

まいったね。

え、見積もり？この際、クラッチもいじっちゃおうと思うから、

えーと・・・。

(以下自粛)

(たかはし)

台風のパカヤロウ！編（よくわかんない編2）

おかげさまで今年も清里ミーティングを無事に終えることができました。みなさん楽しんでいただけましたか？たぶんほかのみんなも天気のことを書いてると思うけど、ホントに雲ひとつない快晴で、清泉寮からあんなにキレイな富士山を見たのは久しぶりです。寒さ対策をしていらした方は拍子抜けしたかもしれませんね。ぼくもダウンジャケットを持っていったのにずっと会場のピアノの上に置きっぱなしで一日すごしました。

でも、前日は台風の影響でひどい雨と風でした。道路が川、じゃなくてほとんど海の中を会場入りしたうちのスマートは床下浸水して不動になってしまいました。朝の挨拶でもちょっとお話しましたが、エンジンは掛かるのにセミオートマのギヤが1にもRにも入ってくれません。ミーティングが終わってみなさんをお見送りしてもやっぱりシフトが入らず、けっきょく知人にお迎えを頼んで2トントラック

に積んで名古屋に戻るハメに…。「行ってやるから自分で運転しろよ」と言われたとおり、スマートを積んだキャンター（虫谷さん、タイタンじゃなくてごめんなさい）を運転して中央道を走り、名古屋に着いた頃にはヤナセが閉まっていたのでとりあえずうちに降りて、月曜の朝にレッカーを呼んで入院させました。ホントは水曜日から車検に出す予定だったのに…。



けっきょく怖れてたクラッチ周りではなくて電気系統に水が入っただけで済んだんですが、ちょっと前に壊れた

パワーウィンドウとずっと前から雨漏りしてたウインドシールドも直して、車検も通してもらって2週間後に帰ってきました。帰ってきたスマートは、リヤブレーキのホイールシリンダも少し漏れてたらしく交換してもらって、自分じゃめんどくさすぎてやる気のしないプラグ交換もしてもらって絶好調です。気のせいかな燃費も良くなったような感じ。

とにかくそんなこんなでことしの清里はなんだかドタバタして、ソフトクリームもアフガンのカレーも食べずに帰ってきてしまいました。来年は今年の分も食べなきゃいけません。みなさん来年もまた清里でお会いしましょう。

（ひでまろ）

編集後記

そんなわけで清里ミーティング報告号をお届けしました。今年は何度も書いているけれどやはりあの天気に尽きますよ。直前に突然発生した台風が太平洋沿いを通過したおかげで清里周辺も土曜の夕方には大雨！それでも当日、あのような好天に恵まれたのもひとえに我々の日ごろの行いの・・・？！

いや、ERFCには強い見方がいます。お気づきの方も多かったと思いますが、ホールの入り口付近にかかっていた『てるてる坊主』がそれです。なにしろ最年少スタッフ「こた」君の手によるもので、昨年に続いて絶大なる効果を顕してくれました。一見「怖い」ように見えるけど、目鼻などのパーツがお日様や木々からできていますし、そのマント(?)を広げると、そこには我々のロードスターや会長のスマート(!)がいたりしてなかなか深いものがあります。でも、来年は前日から効果を発揮してくれるとさらに嬉しいなあ。(^^)

ともあれ今年も多くの方から受けた有形無形のご協力のおかげで無事に清里ミーティングを終えることができました。この場を借りて清里ミーティングに関わったすべての皆様にお礼を申し上げます。

来年もまた無事にゲストを迎えて同じような形で開催できるのか、それともイベント内容が変わっていくのか。次回イベントまではまだまだ一年？いやいや、毎年始動の遅い清里スタッフとしてはもう1年を切っていると見たほうがいいのかもかもしれません。(苦笑)

そしてその次回日程ですが、2008年は今年よりもぐっと遅れて11月9日の開催となります。今年のように暖かくは無いんだろうなあ・・・とか思いながら、一年後に向けてスタッフの準備は始まります。

ではまた、清里でお会いしましょう。

（清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう）



ERFC Newsletter

エーノスロードスターファンクラブ通信

2007 Vol.3

2007年12月1日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp